



使徒16:19~32 そして、ふたりを外に連れ出して「先生がた。救われるためには、何をしなければなりませんか」と言った。ふたりは、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」と言った。

キリストの なかに みちが あります

未信者に「幸せですか？」と尋ねないでください。「なぜ幸せがないか知っていますか？」と尋ねるのが良いでしょう。神様を離れた人は、絶対に幸せなはずがないからなんです。人は熱心にお金をもうけて、高い地位に座るために努力するのですが、むしろ、たくさんもうけておいたお金と高く上がった地位のために、より一層、神様を見つけることなく、ほかの人が知らない苦しみを味わいながら生きています。

聖書は、お金を使うことができる力と高い地位を使える力を先に持つべきだと言われています。すなわち、まず最初に神様を知って、祈りとみことばで神様がくださった力を得るのが最も重要だという意味です。

キリストの中には、お金と高い地位に対する奥義がすべて入っています。キリストの中には幸せに暮らせる奥義がすべて入っています。それで、ただイエス・キリスト、ただ神の国、ただ聖霊、ただ祈り、ただ伝道に集中してみるレムナントになりましょう。



ていにくれいはいに せいこうしたら
チェックしよう

3
Today

きょうの みことば

ローマ3

いちにち 1しょう かみさまの
みことばを よもう!

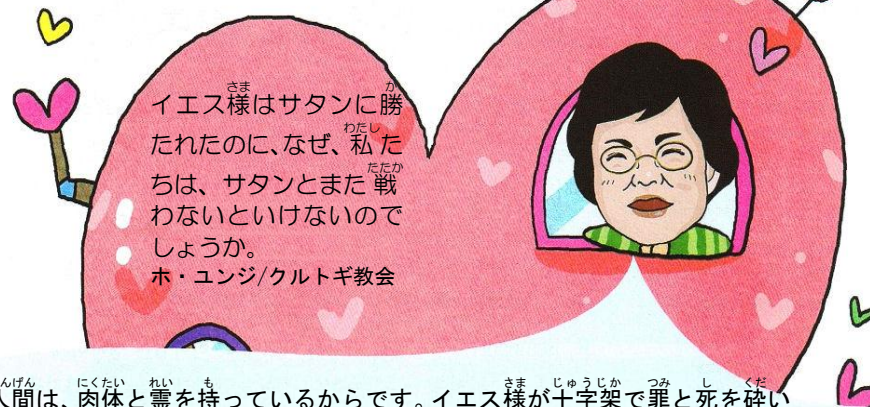
きょうの いのり

きょうの でんどう

2013. 10. 20 (インマヌエル教会聖日 1部)

みことばを てきようしよう

パク・ウヨンばくしふじん!
♥ わたし なやんで います!



人間は、肉体と霊を持っているからです。イエス様が十字架で罪と死を砕いてくださって、復活されて、すでにサタンの権威を砕かれました。ところが、神様が悪魔を永遠に閉じこめる時まで、サタン(悪魔)は人間の心と考えと生活をだます霊(偽りの父)なのです。私たちが肉体と霊を持っているので、影響を受けるのです。それで、私たちは毎日イエス・キリストの御名で戦わなければなりません。(ヤコブ 4:7、1ペテロ 5:8、ヘブル 12:4)

みことばが心に入っていないければ、だます霊にだまされるようになります。イエス様も肉体を持っておられる時には悪魔の試みに会われました。そして、悪魔にみことばで勝たれました。(マタイ 4:1~11)

今日も、今日のみことば、祈り、伝道を生活に根をおろして、みことばを黙想して、毎日勝利しましょう。



父なる神様! この世は神様を離れて幸せがない世の中です。神様がくださった力を受けて、幸せに生きていくレムナントにならせてください。ただみことばと祈りが私のたましいに刻印されますように。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

02 11 火曜日

使徒16:33~40 看守は、その夜、時を移さず、ふたりを引き取り、その打ち傷を洗った。そして、そのあとですぐ、彼とその家の者全部がバプテスマを受けた。それから、ふたりをその家に案内して、食事のもてなしをし、全家族そろって神を信じたことを心から喜んだ。(33-34)

レムナントの ふかい いのり

夜に町の中に出てみれば、きらきらしたネオンサインのあかりがとてもたくさん輝いています。見た目には、とてもすごいいい見えますが、実際にネオンサインの看板の後ろをのぞいてみれば、たっぷり積もったほこりとクモの巣、そして、いろいろな死んだ虫でいっぱいです。

このように、まわりの友だちと世の中をすごいいい見て、自分自身はみずぼらしく思うレムナントがいます。レムナントのみなさん! 見えることにだまされないでください。レムナントは、祝福された神の子どもです。神様は正確に、各自の時刻表に従って答えてくださる方です。答えに対して確信を持ちましょう。

レムナントのパウロは、ハゲ頭にわし鼻を持っていて、目が良くなかったのです。特に外見についてのコンプレックスが多かった人でした。その上、福音を迫害することに先頭に立っていることさえありました。こんなパウロが、イエス様に会った後から、伝道者として変わって、毎日、深い祈りをささげたのです。そうして、パウロは傷が感謝に変わり、監獄に閉じ込められていた中でも、備えられた伝道弟子に会ったりもしました。パウロのように、**答えに対する確信を回復して深い祈りまで回復するレムナントになりましょう。**



ていこくわいはいに せいこうしたら チェックしよう

3 Today

きょうの みことば

ローマ4

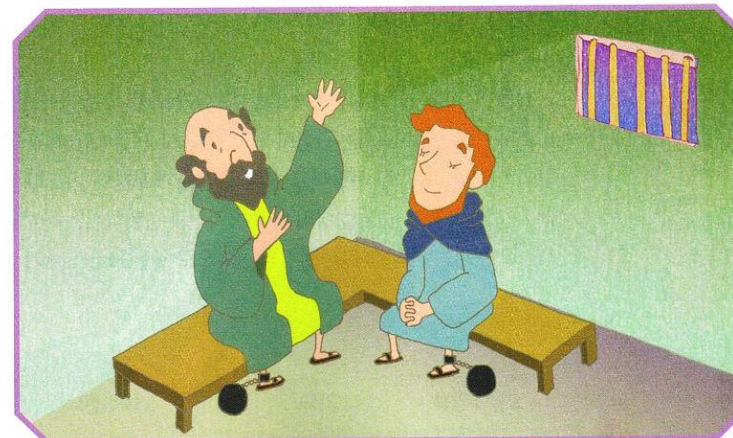
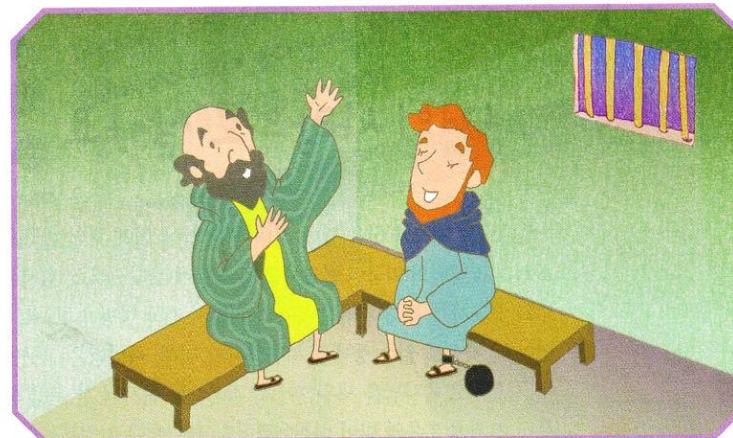
いちにち 1しょう かみさまの みことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう

ちがいを さがそう

ちがいが 5つあります



父なる神様! レムナントパウロのように、私も答えに対する確信を持ちたいです。深い祈りを回復したいです。そして、パウロのように伝道者として育ちたいです。私の歩みを導いてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

02 12 水曜日



使徒1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。

せいれいの ひととして いきよう

神様は、法事やおほらいをよくして、偶像の前におじぎをしてきた日本を福音に変えようと、何人もの外国人宣教師を日本の地に送られました。結局は、少数の宣教師を通してまかれた福音の種が、全国あちこちに伝わりました。福音がない町を福音化するために、神様は日本に教会を作って牧師先生を立てられました。結局は、牧師先生1人を通してその町全体に福音の光が照らすようになりました。神様は家庭福音化や地域福音化でも、国福音化でも、神様の働きを成し遂げるために人を用いられます。

それなら、どんな人を用いられるのでしょうか。それは、聖霊の人を用いられます。福音については関心がなくて、スタイルやゲームにだけ陥っている人でなく、福音を愛して聖霊の満たしを求めながら祈る「聖霊の人」を用いられます。聖霊の人は、自分とともにおられる神様を確信して味わう人です。聖霊の人として生きるレムナントになりましょう。



ていこくれいはいに せいこうしたら
チェックしよう

3
Today

きょうの みことば

ロ-マ5

いちにち 1しょう かみさまの
みことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう

みことばを てきよう

私たちのまわりに、肉体的な問題で苦しんでいる人や心と意思のために苦しんでいる人がたくさんいます。

まわりにそのような人がいるなら、どんなみことばを伝えればよいでしょうか。下のふきだしに、福音のみことばを書いてみましょう。



父なる神様！聖霊が私とともにおられて、導いてくださっている事実を確信させてください。聖霊の満たしを求めて祈るレムナントにならせてください。聖霊の人にならせてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



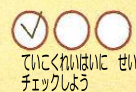
使徒2:9～11 私たちは、パルテヤ人、メジャ人、エラム人、またメソポタミヤ、ユダヤ、カバドキヤ、ポントとアジア、フルギヤとパンフリヤ、エジプトとクレネに近いきりビヤ地方などに住む者たち、また滞在中のローマ人たちで、ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレテ人とアラビヤ人なのに、あの人たちが、私たちのいろいろな国ことばで神の大きなみわざを語るのを聞こうとは。

みことば じょうじゅの しゅじんこうに なろう

キリスト教が最初にひとつの国に入ったとき、イエス様を信じる人々は迫害を受けました。その理由は、まず福音が人々の耳に入れば、その町が変わって、人が変わるからでした。それで、キリスト教に反対する人は、キリスト教を「腸チフス」と呼んだりもしました。腸チフスは、伝染病です。伝染病のように福音の影響力はとても強く、福音が記録された神様のみことばが伝えられる所には、いつも驚くべき変化が起きました。これが、みことばの力ということです。

目に見えないようにまかれたみことばの種は、かならず大きな実を結びます。アブラハム、オバデヤ、ガイオ、アクラ、ルカ、ピレモンのように、神様が用いられる人たちを通して、神様のみことばがそのまま成就して、まわりが変わりました。

レムナントのみなさんも、信仰を持って世の中を変えようの決断をするとき、神様のみことばが成就する主人公になることができます。



ていこくはいに せいこうしたら
チェックしよう

3
Today

きょうの みことば

☐ ローマ6

いちにち 1しゅう かみさまの
みことばを よもう!

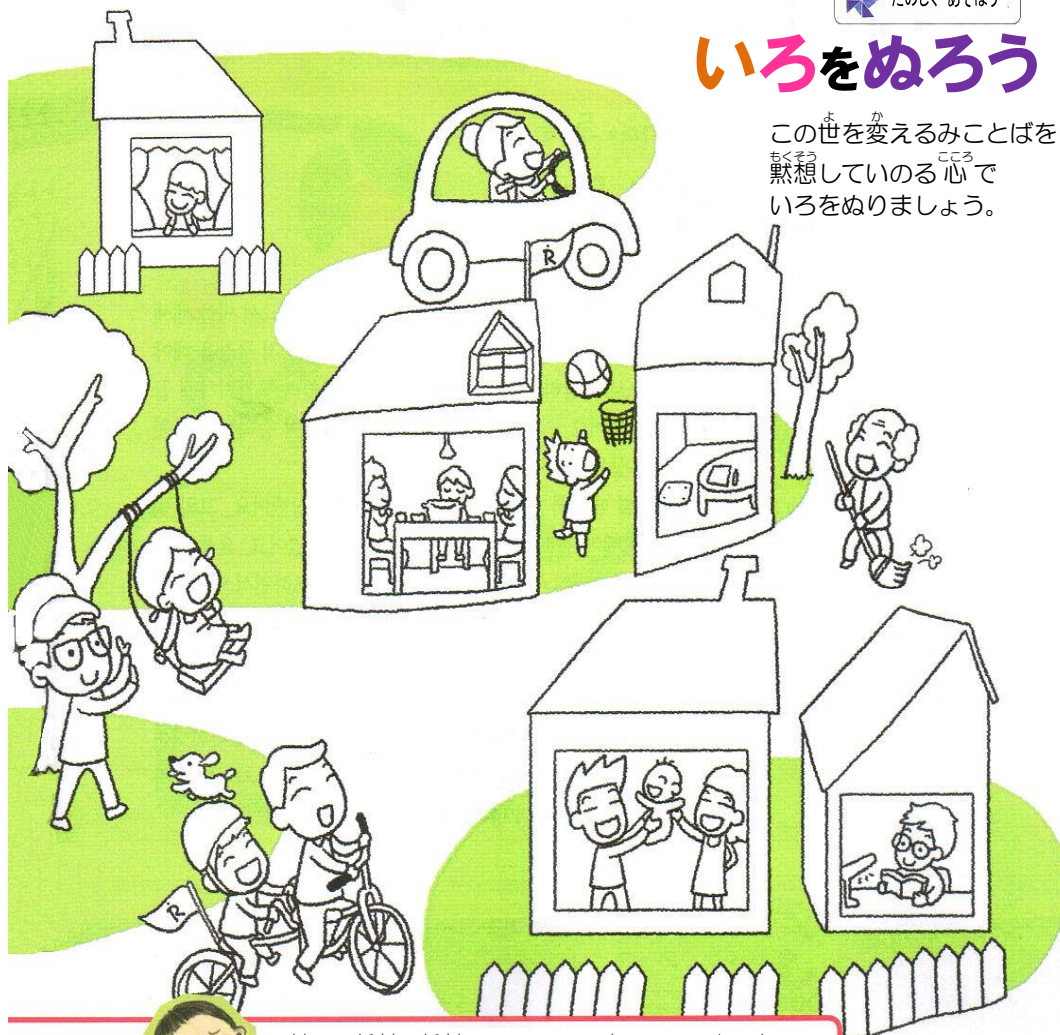
きょうの いのり

きょうの でんどう

たのしく あそぼう

いろをぬろう

この世を変えるみことばを
黙想している心で
いろをぬりましょう。



父なる神様! 神様のみことばを伝えてこの世を変える
レムナントにならせてください。そして、神様に用い
られるみことば成就の主人公になりたいです。イエス・
キリストのお名前によっておいのりします。アーメン



詩篇119:25~32 私^{わたし}のたましいは、ちに^う打ち伏^ふしています。あなたのみことば^{わたし}とおりに私^{わたし}を生^いかしてください。(25)
私は^{わたし}真^ま実^{じつ}の道^{みち}を選^{えら}び取り、あなた^{あなた}のさばき^{さばき}を私^{わたし}の前^{まえ}に置^おきました。(30)

れいてき ぶき

「^{ぶき}武装^{ぶき}する」ということばの意味^いは、兵士^{へいし}が武器^{ぶき}や装^{そう}備^びをもつて戦^{たたか}う態^{たい}勢^{せい}をそろえることを言^いいます。レムナントは、霊^{れい}的^{てき}兵士^{へいし}として、霊^{れい}的^{てき}装^{そう}備^びをするべきです。みことばで装^{そう}備^びしなければ、暗^{くら}やみ^{くら}の文^{ぶん}化^かに巻^まきこまれて、無^む気^き力^{りき}で言^いいなりになります。それで、毎^{まい}日^{にち}、みことばを黙^{もく}想^{そう}して勝^{しょう}利^りしたダビデ^だのよう^{よう}に、霊^{れい}的^{てき}装^{そう}備^びをしなければなりません。

ダビデは、幼^おい^おし^しか^から神^{かみ}様^{さま}のみことばと祈^{いの}りで装^ぶ装^{そう}しました。彼はキラキラした目^めで、とて^うも^う美^めしいレムナント(1サムエル16:12)で^うした。ヨセフもやはり、幼^おい^おし^しか^から神^{かみ}様^{さま}がくださったビ^びジ^じョンを心^{こころ}に抱^{いだ}いて祈^{いの}りながら霊^{れい}的^{てき}に装^ぶ装^{そう}しました。霊^{れい}的^{てき}装^{そう}備^びが上^{じょう}手^ずだったダビデとヨセフは、大^{おお}きい祝^{しゅ}福^{ふく}を受^うけました。

毎^{まい}日^{にち}＜子^こども^{ども}の祈^{いの}り^ての手^て帳^{ちやう}＞に出^でてくる聖^{せい}書^{しよ}のみことばを黙^{もく}想^{そう}して、心^{こころ}と思^{おも}い^いに霊^{れい}的^{てき}装^{そう}備^びをはじめましよう。繰^くり返^{かえ}してみことばを^よ読^{よみ}んで暗^{あん}唱^{しやう}すれば、心^{こころ}と思^{おも}い^いの中^{なか}に福^{ふく}音^{いん}が刻^く印^{いん}されます。みことばが心^{こころ}と思^{おも}い^いの中^{なか}に刻^く印^{いん}されれば、霊^{れい}的^{てき}に装^ぶ装^{そう}し始めます。このとき、定^{てい}刻^く祈^{いの}りと常^{じょう}時^じ祈^{いの}りが自^し然^{ぜん}になリたって、よりいっそう、霊^{れい}的^{てき}に強^{つよ}い者^{もの}になるでしょう。



ていこく^{てい}れい^{れい}はいに^{はい}に^にせい^{せい}こう^{こう}したら^{したら}
チェックしよう

3
Today

きょうの みことば

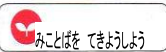
と28

いちにち^{いち}1しやう^{しやう}かみさま^{かみ}
みことばを^よまよう!

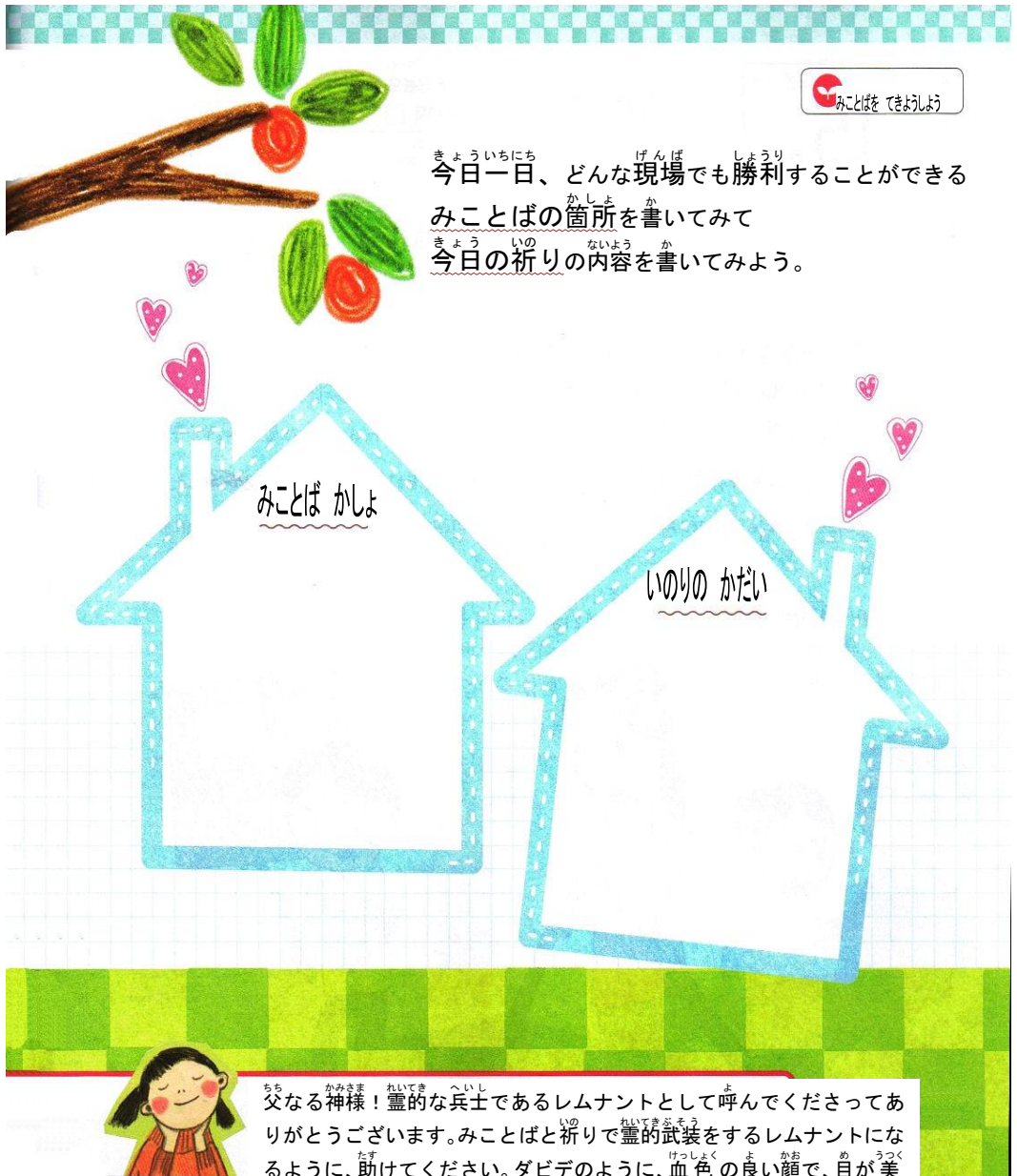
きょうの いのり

きょうの でんどう

2013. 10. 16 (RTS 特講)



きょういちにち^{きょう}、ど^どんな^な現^{げん}場^ばでも勝^{しょう}利^りするこ^こが^がで^できる
みことば^みの^の箇^か所^{しよ}を書^かいてみ^みて
きょう^きの^の祈^{いの}り^りの^の内^{ない}容^{よう}を書^かいてみ^みよう。



ちち^{ちち}かみさま^{かみ}れい^{れい}てき^{てき}へい^{へい}し^し
父^{ちち}なる神^{かみ}様^{さま}！霊^{れい}的^{てき}な兵士^{へいし}であるレムナントとして呼^よんでくださってあ^あ
りがとうござい^います。みことばと祈^{いの}りで霊^{れい}的^{てき}装^{そう}備^びをするレムナントにな^な
るよう^{よう}に、助^{たす}けてくだ^{くだ}さい。ダビデ^だのよう^{よう}に、血^{けつ}色^{しよく}の良^よい顔^{かお}で、目^めが美^{うつく}
しく、姿^{すがた}もりっばなレムナントにな^ならせてくだ^{くだ}さい。イエス・キリス^い
トのお名^な前^{まえ}によ^よっておい^{おい}のり^{のり}しま^ます。アーメン



おはなし もくそう

いま、かみさまの めぐみをもとめよう

「あれ…時計を見たら、もう夜中の2時を過ぎてしまってる」コウキは、休みの間、遅く寝るくせがついてしまいました。遅く寝るときは、コンピュータの前でゲームをしたり、好きなアニメを見ました。コウキのママは、朝寝坊をしているコウキを起こしました。

「もう、起きなさい！ 今日、牧師先生が礼拝に来られるのよ。そうじをして準備をしなければ！」

コウキは、牧師先生が来られるというママのことばに、むくっと起きました。ところが右腕がしびれたのです。

「あれ、規則的な生活をしていないので、からだのリズムがおかしくなって、からだが病気になるっちゃった」



ていこくせいはいに せいこうしたら
チェックしよう

3
Today

きょうの みことば

ローマ8

いちにち 1しゅう かみさまの
みことばを よもう！

きょうの いのり

きょうの でんどう

コウキは、ママといっしょに遅い朝食を食べて、そうじをしました。お昼になって、牧師先生が来られました。牧師先生は、ハドソン・テイラー宣教師の話の聞かせてくださって、祈りの重要性について言われました。牧師先生は、礼拝時間が終わった後、カバンから本一冊を出してコウキにくれました。

「毎日、神様の恵みを求めないなら、私たちは生きていくことができないんだよ。神様のみことばを黙想して、勝利したハドソン・テイラー宣教師の話だよ」

コウキは、牧師先生が帰った後、ハドソン・テイラー宣教師の一生の記録が書いてある本を読みました。宣教師は時間を定めておいて祈りながら、時間がある時ごとにみことばを黙想しました。そして、規則的な生活をして、ただ神様がくださったビジョンのために祈りました。宣教師は、自分の弱さを知っていて、毎日、霊的に先に武装するために、神様がくださる知恵と力を求めました。

神様に祝福される人は、すべて生活が正しく、祈りと黙想をする時間をのがしませんでした。コウキは、正しい生活を回復するために、ママと一緒に縄跳びをしました。そして、運動を終えた後、子どもの祈りの手帳を開けました。寝る前、正しい生活を送れる新しい力を求めて祈りました。すべての問題を神様に任せれば、神様は、どんな瞬間でも勝利するようにされるでしょう。

